

WAVE RESEARCHER

INFORMATION NEWS

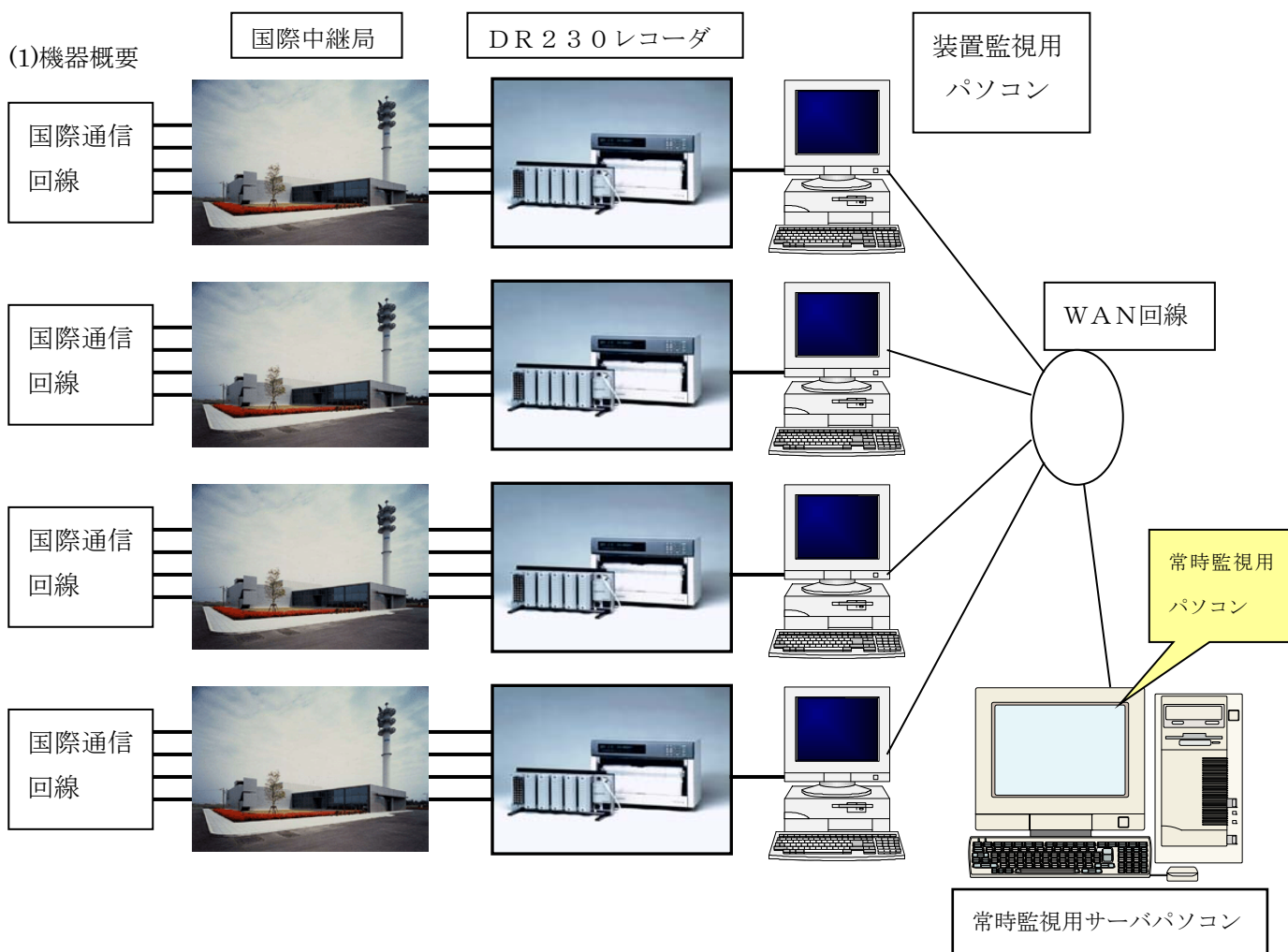
NO. 0078

DARWIN/HRシリーズと接続し、時系列データ収集分析を容易に実現する、

「Wave Researcher」® for Windows Ver 3.0 対応版

DARWINを使用した海底線中継局常時監視システム

ADSL回線を中心とした最近の回線事情の低価格化には驚かされるばかりです。「Wave Researcher」® Windows Ver 3.0 版も、携帯電話やPHSなどの回線を使用したリモートデータ収集・監視の分野に数多く使用されています。この場合には、センター側からのダイヤルアップ接続方式が中心であり、常時接続する場合には電話料金が高くなる問題がありました。ADSL回線の場合には、常時接続ができる上、通信速度も速いので今後のリモート監視システムは常時接続が常識となることでしょう。



海底線中継局常時監視システムの概要

(1)当システムは、国際回線中継局間の信号レベルを常時監視することで、海底線に関する故障状態を判定するためのものです。

各中継局にDARWINとパソコンを設置して監視および、データの保存を行うとともに、そのデータを企業内広域LAN回線（WAN）を経由して、常時集中監視センターでモニターすることができます。

当システムでは、「Wave Researcher」ネットワークエントリーモデル（ENWIN-V300）を4セット使用して1対1のデータ収集を1台のセンターパソコンで同時に行い、コスト面での効果とセンターパソコンの省スペースを狙いました。

